

子どもの様子の変化・感想を聞いてみました！

加太小学校学校運営協議会 つむぎの会 会長

加太小学校学校運営協議会は、地域、保護者、地域まちづくり協議会、保・小・中が連携して子どもたちを支える中心的な役割を担っています。子どもたちを地域の宝として、子どもたちの思いを大切にしながらサポートしていきたいと思っています。

野外体験保育に取り組み、園児たちは小さな虫からマムシ（標本）まで、まるで友達のように接することができるようになったと思います。小さな体の中に成長への大切なものを、ひとつ、またひとつと取り入れているように感じます。

「園児のみんな、これからも加太小学校のお兄さん、お姉さんと米を育てて美味しいお餅を食べような。」

加太小学校 校長

コロナ禍において多くの活動が制限される中、校庭で園の皆さんが花や虫にふれながら自然を楽しむ姿をよく見かけます。本校でも加太の自然や文化を生かしたふるさと学習に力を入れています。園での野外保育体験がとても生きていて感じています。豊富な言葉や観察力、やさしい感性やたくましさなど多くのものを培っています。これからも保・小の連携を深め、子どもたちの成長をいっしょに見守っていききたいと思います。



大人も知らない事を学んできて、体験したことを楽しそうに話す。体力が付き、活発になり、のびのびと育っていると感じる。

5歳児 祖母

虫を平気で触れるようになった。五感での気づきが鋭くなった。家庭では身に付けられないような、たくましさを感じられるようになった。

4歳児 母

環境問題に関心を示すようになった。山にゴミが捨てられていること、川が汚染される事を心配し、ゴミを拾うようになった。

5歳児 母

保護者の声

今の大人は携帯ばかり見ているが、子どもには昔から使っている物、先人の知恵のすごさなどを知り、体験してほしい。

0歳児 母

これからの時代に必要な教育は、答えを教える教育ではなく、自ら考えて答えを見つけられる力を身に付ける教育である。自然での体験は、これを実現できる一つの方法であり、大変良い事と考えている。

1歳児 父

いろいろな体験ができるように支えてくれる地域の方に感謝している。

4歳児 母

亀山市健康福祉部 次長

緑豊かな地域の中で、優しくたくましく育つ加太保育園の子どもたち。川や里山の自然を生かした野外体験保育でも、一人一人が自分のやりたいことを決め、いろいろな方法を試しながら、異年齢の仲間とともに楽しく活動する姿を見せていただいています。

これからも、保護者・地域の方々や先生方など、まわりの大人からの温かな心づかいや思いを感じ取り、将来の夢や希望を叶えるための力を身体いっぱい蓄えながら、すくすくと大きく育ってほしいと願っています。

亀山市社会福祉協議会では、市内の保育所、幼稚園、認定こども園をはじめ小・中学校、高校の子どもたちに対して、福祉について理解を深める「福祉教育」を推進しています。加太保育園では、野外体験保育はもちろん、年間を通して地域の方々と行事や交流活動を行っています。様々な関わりの中で、子どもたちに福祉の心を育んでもらえるよう、今後も学校や園で「福祉教育」を通して、「ふだんのくらしのしあわせ」を推進していきます。

発行

社会福祉法人亀山市社会福祉協議会
〒519-0164 亀山市羽若町 545
TEL:0595-82-7985 FAX:0595-83-1578
市総合保健福祉センター「あいあい」内
公式 HP <https://kameyama-shakyo.or.jp>

2022.3発行

里山で学び育つ加太保育園の子どもたち！



五感を刺激し、生きる力やへこたれない力を育てよう！

ワクワク！ドキドキ！
自然の宝探しで
大きな学びを育てよう！



野外体験保育とは

野外を中心とした地域の自然を体験活動に取り入れた保育や幼児教育のこと。子どもたちが主人公になれるよう、周りの大人（保育者等）が関わりながら取り組みます。

せんせい！
すごいもの
みつけたよ！



里山の自然の中でのびのびと野外活動を楽しみ、子どもたちの心や学びに向かう成長を見守っています。日々の野外活動の子どもたちの様子など「加太保育園野外体験保育」のホームページで紹介していますのでご覧ください。

これなんだろう？
しらべてみよう！

亀山市立加太保育園

TEL・FAX 0595-98-0134



子どものやりたい気持ちや好奇心を大切に、
野外体験保育を楽しんでいます！

<http://www.city.kameyama.mie.jp/kosodate/kabuto/article/2017072400032/>



は ひ ふ へ ほ

の保育は“生きる力”を育てます！

(刃物を使った活動)

(火を使った活動)

(歩を使った活動)

(平和・人とのかわり)

(穂を使った活動)

は …刃物を使う活動



がんばるぞ！

力を
合わせて！

ひ …火を使う活動

火をおこすことは、生活の原点。かまどを作り、ココアやみそ汁を保護者と一緒に味わいながら、心動かす活動になっています。



マッチで火、
つけるよ！

フー！フー！

ふ …歩く活動



よーい、
ドン！！



まるで
忍者のよう…！！



雨粒、
気持ちいい！！



たき火を囲んで
振り返り



雪の中をダッシュ！

急な斜面を手や足を使って鹿のようになりきって登り、てっぺんまでいくのが面白いよ！
雨の日の雨粒の音は？ 野山を歩くと感動することばかり！



まゆが
できたよ

森の葉
を食べてるね

つる採り！



秘密基地を
作ったよ！！

もち米の収穫、竹を使った秘密基地づくり、友達と思いや考えを出し合い目的の実現に向けてやり遂げます。

森の中では、心が解放される心地よさと、様々なものとの思いがけない出会いに感動を覚えます。
自然の中には、子どもたちの好奇心を満たす材料がたくさんあります。山道を進んだり、川に飛び込んだり、地域の方々とふれあいながら、季節の収穫物の恵みに感謝をしたり…。自然の中で、手応えのある活動を楽しむと、物事に対して自ら関わっていこうとする意欲が高まり、生きる力が育っていくことを感じます。
野外体験保育は特別なことではありません。身近にある様々な自然に関わることで、ワクワクする体験が生まれ、学びが広がっています。



地域の方から大根や玉ねぎ、梅、柿、さつま芋など季節の収穫に誘っていただくことが多く、園庭では味わえない体験をしています。

へ …平和・人とのかわり



雪の中で！



手につかまって！

いっしょに行こう

保育者が何も言わなくても、しぜんと大きい子が小さい子の世話をしてくれます。
“野外保育をすると優しい子に育つ”と感じます。

ほ …穂を使った活動

小学生と一緒に田植えや稲刈りを楽しんでいます。稲を刈った後の田んぼには虫がいっぱいいるよ！



竹飯ごう！



竹飯ごうで炊いた
ご飯は最高！



田植え！



稲刈り



はさかけ
体験

野外保育有効性調査の結果

野外体験をするうちに
子どもの行動に変化が出てきます！

- ある程度の責任を持った判断が可能になる
- 自ら考え、行動する力が身につく
- 互いに尊重し合い、助け合えるようになる

